

リーディング DXスクール事業【実践事例】

久喜市立鷲宮西中学校(埼玉県)【指定校】

【取組内容】数学科「個別最適」と「協働」を両立した学びの実践 ～課題選択制の学び～

1.学習の手引による「授業内容の把握」

- ・自分で本時に何を学ぶのか確認し、学習への動機付け
- ・時間を短縮し、課題へ取り組む時間の確保

→基礎基本のみではなく、自分の状況に応じて、難易度の高い課題へのチャレンジをする時間を確保

2.課題を選択し、協働しながら「解決向かう展開」

- ・自分で課題を選び、自由に進捗を設ける。

→できた生徒は、説明をすることにより、自己の概念的理解度も向上する
・課題を複数設定し、個別に最適な課題を取捨選択させる。

3.「振り返りシート」による進捗状況の確認や今後の見通し

- ・振り返りシートに、課題への達成状況を記入し、自分の状況把握の材料にする。
- ・本時の課題やヒントシートのリンクを掲載し、いつでも取り組めるような環境を整えておく。

5 時間目 学びの手引

【学習のめあて】

★仮定や根拠を明らかにして、考えを整理しながら合同の証明をしよう。

① 今日の学習内容の確認

- (1) 証明の進め方について確認する。
- ・証明の手順
 - ・三角形の合同条件
 - ◇教科書 P.118～119

② 問題演習をして学びを身に付ける (googleスライド)

- (1) 各自のペースで学習を進める。
- ・課題の選択
 - ◆課題①、課題②、課題③から選択
 - 課題①は全員が取り組む。
 - 課題①ができた人は、課題②or課題③の好きなほうから取り組む。
 - 課題②課題③の両方ができた人は、次の内容の予習やさらなる課題に取り組む。(自分で検索、問題を探す等)
 - ・情報収集
 - 教科書 (P.118～119)を読み取る。
 - ・整理分析
 - 読み取ったもの、話し合ったことをまとめる
 - (チャットで共有し、自分がまとめる際の参考に)
- (2) チャットで学びを共有。

③ 問題演習のポイント

- (1) 自分で最適な学習方法を選択し、自分のペースで学習を進める。
- (収集した情報やチャットを参考に個人で取り組む or 誰かと協働しながら取り組む)
- (2) 学習方法の工夫
- 本時の内容があまり理解できない
- ・教科書の例で解き方を確認。
 - ・過去の授業で解いた問いを再確認。
 - ・ヒントシートをもとに取り組む。

課題① ヒントシート 課題② ヒントシート 課題③ ヒントシート

本時の内容を理解でき、確実なものとした

- ・自分のレベルにあった問題を探し、解いている(見つけた問題はクラスルームやチャットに送ってください。)

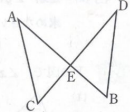
④ 今日の学習のまとめと振り返りをする

- (1) 今日の学習を振り返る
- ◇【2-1 振り返りシート】に記入する。
 - ※自分の書きたいタイミングで書いてもよい。

課題① <合同の証明に必要なこと>

①条件に合うように、理由を整理しよう。

<証明する上で、必要な根拠>



線分ABとCDが点Eで交わっているとき、
 $AE=DE$ 、 $CE=BE$ ならば $AC=DB$ であることを証明しなさい。

「図形の調べ方」Part14									
A評価の姿・仮定から結論までの手順を考え、すじ道を立てて証明することができた。									
ふ他の人が打ち込んだ内容には手を入れない									
解答リンク: ①11/6 課題①ヒントシート ②11/6 課題②ヒントシート ③11/6 課題③ヒントシート ④2-1 4章「図形」									
No.	名前	今日の理解度	課題①	課題②	課題③	今日のよりかえり (できるようになったこと、質問、もっと考えたいこと、 疑問に思ったことなど)	先生チェック		
	例	A. バツナリ!	達成!	検討中	検討中	久しぶりに計算をしてみても、図形が少し苦手なことに気が付きました。図形は、①②③に正確な情報を書き込むことと情報を探すこととを意識すれば、そこまで怖いものではないと感じました。これからも、計算だけでなく、図形の問題にも積極的に取り組みたいです。	☒		
1		A. バツナリ!	達成!	達成!	達成!	全く解けたので良かったです。証明がすぐできるように復習していきたいです。	☐		
2		A. バツナリ!	達成!	達成!	達成!	前回の授業のスライドよりも、レベルアップして難しくなりました。特に点と線とカードをみてもらうかなというところがあったので自分のように載せてもらってみたいと思いました。	☐		

